

医療法人 八誠会

もりそう教育だより

令和 7 年 4 月発行 (No.16)

発行／もりやま総合心療病院
看護部

TEL 052-791-2133



ハローグッバイ

柏原芳恵さんの「紅茶の美味しい喫茶店〜♪」という歌がわかる人、もしかしたらほとんどいないかもしれませんが、3〜4 月はハローグッバイの季節ですね。今年も、新しい仲間がたくさん来ていただきました。うれしいことです。その分、病院を去っていく人もいました。看護部では、長年働いてくださった副部長さんが定年退職されました。勤続 31 年だったそうです。同じ職場で 30 年以上という方、うちの病院ではそんなに珍しくないのですが、すごいことだなあと感じます。コロナ流行で苦しい時も、一緒に乗り越えてきたなあとちょっぴりセンチメンタルな気分です。でも、4 月も始まり、新たな仲間と共に今年度もがんばっていこうと思います。

さて、新たな出会いのためにはインターンシップも大切ですね。ということで、夏の日程が決まりました。病棟見学や先輩との交流、食堂でランチ体験もあります。ぜひ、たくさんの方にお越しいただければ幸いです。

夏のインターンシップは、7月31日(木)、8月5日(火)、8月28日(金)の3日間です。都合がつかない場合は、個別に見学会にも対応しておりますので、看護部長の林 (m-hayashi@8seikai.jp または [052-791-2133](tel:052-791-2133))までお気軽にご連絡ください。看護部一同お待ちしております。

職員旅行に行ってきました

コロナ禍でいろいろと縮小したことがありましたが、組合のイベントもその一つで、以前はボーリングとか BBQ とか楽しい催しがあったのに、ここ最近はとんとご無沙汰でした。それでも、忘年会が復活したり、研修も集合教育を開催したり、少しずつ取り戻せてきたかなと思うここ 2 年でした。昔は、北海道とか沖縄に旅行に行ったものだやと、先輩ナースに聞いておりましたが、在職中に職員旅行に行けるなんて、なんとありがたいことでしょう。さすがに日帰りだったので、行先は滋賀県でした。黒壁でショッピング、エクシブ琵琶湖で美味しい中華コースの料理を食べて、ラコリーナ近江八幡でショッピングとカフェ、あいにくの雨天でしたが、心は晴れ晴れです。たまにはこういう日があるのもいいなあと心の底から思いました。ありがとう組合、ありがとう八誠会です。

バスの中でも、いつも一緒に仕事をしている看護教育の 2 人で並んで、おしゃべりしていました。いろいろ話しましたが、最後には今後の研修をどうしようとか、そんな話に落ち着いて、お互い仕事好きなんだなあと笑っておりました。旅行にこられなかった人もいるからと、日頃お世話になっている方にお土産も持っていったら、後日その方も別の日程で行かれたようで、違うお土産をいただきました。温かい病院で働けること、ありがたいなあと感じます。





発表会がありました



院内で発表会を行う研修はいくつかあります。その中で今回は看護過程コース、新人グループワークを紹介します。看護過程コースでは、セルフケア理論に基づく看護過程の展開について理解を深め、病棟で看護過程の展開について指導的役割をとれるよう演習や発表会を通して学びます。新人グループワークでは、1年の振り返りを資料にまとめ発表することでポジティブフィードバックを行います。新人看護師同士の交流を通して、看護師としてどう成長したか、今後どうしていきたいかを、考えたり感じたりする場としています。看護過程コース、新人グループワークに参加されたお二人に感想を書いていただきました。



【新人グループワークに参加して】

精神科看護師として二年目を迎え、患者様との関わり方や疾患への理解を深められた一年でした。一年目は、目の前の業務をこなすことに精一杯でしたが、今年度は患者様の思いに寄り添いながら、自分なりの看護を意識して関わることができました。その一方で自身の技術面や経験の面で不足していると気づく場面も多く、精神看護の難しさを改めて実感しました。今後も経験を積み重ね、患者様にとって安心できる存在になれるよう努力していきます。

(E3 病棟 種田聡志)

【看護過程コースに参加して】

昨年度は、実習指導者養成コース研修、看護過程コースを経験させていただきました。配属先の F1 病棟は退院支援病棟です。患者様が退院していくにあたって身につけていかなければいけない能力は何か、患者様自身が今後どのような生活を望んでいるのか、強みとなることは何なのか、退院の障壁になっているものは何かなど、個々のケースをアセスメントしながら日々看護にあたっています。研修で患者様をより深く知り丁寧にアセスメントできたことが日々の看護に生きていると感じています。今年度は実習指導にも携わる予定ですが、学生さんに少しでも精神看護の楽しさや奥深さを感じてもらえるよう、学生さん自身の目線も大事にしながら今回学んだことを伝えていけたらと思います。

(F1 病棟 豊本麻里子)

リソースナースのご紹介 第4弾

皆さま、こんにちは！

私は総合病院を経験した後、精神医療に携わりたいと思い当院に転職しました。ぬくぬくと働かせてもらっていましたが、そのうち「いったい自分は精神科看護師としてなにをしているんだ??」という疑問を強く感じるようになりました。そんなタイミングで、大学院へ進学するチャンスがあり、自分がやっていることを言語化したと思い進学を決めました。大学院では「リカバリー支援」を中心に学び、新たな発見や経験の連続で看護師としての価値観や考え方を大きく更新する機会となりました。在学中は休職していたため臨床に出られない寂しさもありましたが、ともに働いた先輩や同僚の力を借りながら(お酒の力も)、無事に専門看護師として認定されることができました。まだまだ「言語化」は難しく、専門看護師として右も左もわからない“ひよっこ”ですが、精神疾患を持つ方や精神医療に携わる方々のお力に少しでもなれるよう、自分自身を成長させていきたいと思っています。

(B1 病棟 大岩祐哉(精神看護専門看護師))